

－ 第 2 部 －

平成 2 0 年度

水産業の振興に関して講じた施策

平成 2 1 年 9 月

宮 城 県

— 目次 —

第2部 平成20年度水産業の振興に関して講じた施策

1	みやぎ海とさかなの県民条例に基づく「水産業の振興に関する基本的な計画」の見直しとその概要	1
	—主な取組—	2
	●「水産業の振興に関する基本的な計画」の見直し	
2	平成20年度に講じた施策	
	施策の展開I 「量から質へ、健全な資源と環境づくり」	3
	1 水産資源の適切な保全と管理	
	2 水産動植物の養殖及び増殖の推進	
	3 水産動植物の生育環境の保全と改善	
	4 秩序ある海面の利用	
	—主な取組—	21
	●三陸沖鯨類捕獲調査（JARPNⅡ）について	
	●マコガレイ・マアナゴ資源回復計画について	
	●仙台湾貝類資源の回復～アカガイの資源回復のための取組～	
	●仙台湾における漁場修復の取組としての海底耕耘試験について	
	●まだら固定式さし網漁業の操業調整について	
	●平成20年度定置及び区画漁業権一斉切替について	
	●仙台湾における水産動植物の保護区の設定について	
	●ホシガレイの種苗放流について	
	●ワカメ生産者による種苗生産の取組について	
	●ホヤ天然種苗の安定確保に向けた取組	
	●漁業指導船「新宮城丸」による本州中部海域における熱帯性マグロ標識放流調査について	

施策の展開Ⅱ「消費者の視点に立った安全・安心な生産・供給体制の確立」
・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

- 1 安全で安心できる食品の生産・供給体制の確立
- 2 食の安全・安心に関する体制整備と関係機関の連携強化
- 3 多様化・複雑化する消費者の需要に対応した供給体制の整備

—主な取組—・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

- カキの麻痺性貝毒の発生予測及び解毒技術の開発
- 水揚げ奨励金制度の創設について

施策の展開Ⅲ「高い意欲と能力のある人材育成と経営体のレベルアップ」
・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

- 1 効率的で安定的な経営体の育成
- 2 人材の育成と確保
- 3 水産業に関する団体の育成強化
- 4 労働環境の整備

—主な取組—・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

- 漁業者団体の活躍（その2）
全国青年・女性漁業者交流大会における農林水産大臣賞，水産庁長官賞受賞
- パソコン簿記による経営管理について
- 漁船員の雇用確保対策
- 人工地盤の整備について
- 塩釜漁港魚市場前—7m岸壁の改良について

施策の展開Ⅳ「地域に根ざした水産業の競争力の強化と
みやぎブランドづくり」・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

- 1 付加価値の高い製品の開発及び販売の促進
- 2 研究開発と成果の普及の促進
- 3 産業間・産学官の連携による新たな事業の創出の促進

—主な取組— 61

- 企業立地促進法に基づく食品関連産業等活性化基本計画の策定について
- みやぎ発展税による加工機械導入
- 乳酸菌の水産加工品への応用
- ふか食推進の取組
- サケマス類養殖における新しい魚病対策技術の開発
- サケマス類のバイオテク技術等の普及について

施策の展開V「水産業に関する県民理解の促進と地域環境の整備」 . . . 67

- 1 生産から消費までの情報の提供・共有と食育の推進
- 2 漁村地域の景観及び環境の保全
- 3 快適で住みよい地域環境の整備
- 4 都市や農山村との交流促進

—主な取組— 72

- 「食材王国みやぎ地産地消の日」の制定について
- 「美味し国 魚市場」ホームページの開設
- ヒトデの有効活用に関する研究
- 岩手・宮城内陸地震による内水面漁業被害と被災者支援

施策の展開VI「国への働きかけ」 76

- 1 国際的に対応が必要な取組について
- 2 水産物の安全・安心に関する全国的な取組が必要な事項について
- 3 広域的な資源管理が必要な取組について
- 4 燃油価格高騰への対応について